

記念館新聞



福岡町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福岡町西田原
1038 の 12
電話：0790-22-1000

ホントは逃げたい

逃げる二月

1 月は「行く」、2 月は「逃げる」、3 月は「去る」といわれるくらい、この 3 ヶ月は短く感じます。そんなあわただしい 3 ヶ月の中間点、2 月は昔から各地で厄除けや魔除けに関する行事が多く、本当にあっという間に過ぎしまいました。



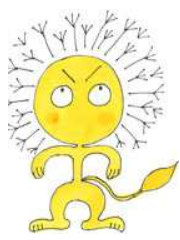
まず 2 月 1 日は「大の正月」とあるいは「送り正月」といい、主に中国地方でこの日 1 日だけ正月の式を繰り返す風習があります。その年に厄年に当たる男女がも

う一度年を取り重ねること、厄年を避けようとして行われているようです。かつては数え年で年齢を表していた(誕生日に関係なく正月に歳を取る)ため、正月を繰り返すことで加齢したとみなすわけですね。他にも 8 日は「大まなこ」と言って額に目が一つだけある妖怪の魔

除け行事が関東一帯で行われたりしました。

「おかた逐(おい)出し」や「伏せ馬」などなど、年が明け、月が変わっても忙しいですね。

タヨウ星人 襲来!?



ライオンタンポポ

人と自然の博物館で生まれた生物多様性キヤラクター「タヨウ星人」が記念館に来襲します!!

河南堂珍元齋さんが描いた「タヨウ星人」の原画などを展示する「タヨウ星人に学ぶ生き物のふしぎ」國男も見た



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間

9 時～16 時 30 分
(入館は 16 時まで)

☆休館日

月曜、祝日の翌日
12 月 28 日～1 月 4 日

☆入館料

無 料

タヨウ星人」を企画中です。

自然のなかには多種多様な生物が住んでいます。柳田國男も『野鳥雑誌』『野草雑誌』の中で、生物の多様性や、地域ごとに異なる呼び名について説きました。それら多種タヨウな生物を楽しむ学べる展示をご覧ください。



チンゲンサイ de チンゲンサイ

☆襲来期間

3 月 3 日(土)～
3 月 31 日

☆会場

記念館 2 階会議室

☆入館料

無料

記念閑話



本年 10 月の特別展では播磨国風土記(以下、風土記)に関する展示を予定しています。その準備として風土記で紹介されている「砥川山」について歴史や近大姫路大学の松下先生と共に調査をしました。

風土記では「砥川山」を砥石が取れる山として紹介しています。しかしその比定地については有力な説は無く、今日に至るまで不明となっています。今回の調査では候補の 1 つとして日光寺山を調査しました。

日光寺山では昔、石灰と共に砥石が採れたそうです。地元の方に案内していただき、その砥石が取れた場所へ実際に行きました。



調査の様子

砥石として使える石を採しながら谷の奥まで進み、そこでいくつか砥石として使っていたと思われる石を採取しました。しかし長い年月が経っており、かつて砥石を採っていた場所を特定することはできませんでした。明確に断言はできません。しかし日光寺山あたりの山が「砥川山」の候補地の 1 つと考えられるのではないのでしょうか。